

公益社団法人日本動物学会中国四国支部令和7年（2025）役員会議事録

令和7年5月17日（土）11:30～12:30

愛媛大学（城北キャンパス） 多目的レクチャー室1（対面）

出席者（敬称略）：植木 龍也（支部長），浮穴 和義（理事），彦坂 晓（支部代表），  
山中 明，箕田 康一，森下 文浩，村上 安則，山口 陽子，藤原 滋樹，  
真壁 和裕，北沢 千里，宇田 幸司，井川 武，高田 裕美，小野 廣記，  
越智 拓海，吉田 将之，有本 飛鳥，小林 勇喜（以上役員）

開会にあたり、村上安則委員（三学会開催地元県委員として）ならびに植木龍也支部長より挨拶があった。

○報告事項

1) 理事報告

植木龍也支部長より、2024年5月以降の理事会の報告があった。

○会計報告に関して、2024年度支部活動費について、中四国支部は15000円。

○代議員制導入について今期に議論を開始したい。

○寄付金に関して：直近一年間の実績は学会員122件、それ以外19件。学会員以外からの寄附を増やすための方策を検討中。支部においても何らかの検討していただければありがたい（参考：中部支部は独自のクラウドファンディングを実施）。お金の流れに注意する。

○支部ホームページの移行作業を進める。旧ホームページはアーカイブを利用する。

補足：3月上旬に新ホームページへの移行作業が開始した（現在はまだ仮ページで作業中）旧ホームページは国立国会図書館のインターネット資料収集事業によってアーカイブされており、新システムからリンクする。

本支部の支部会報は全て電子化されており公開は保留としていたが、新システムが公開された後、順次公開する予定である。古い支部会報には会員名簿が含まれているので、そのようなページは外す予定である。

\*報告事項であるが、上記下線部に関して、「支部会報に要旨が含まれていることから、一般公開または会員向けに公開するか」の議論があり、継続審議とした。

○全国大会は今年度：名古屋、来年度：札幌。

○次年度、三学会は鳥取県。

## 2) 庶務幹事報告

小林勇喜庶務幹事より、支部役員・会員数について報告があった。

### □庶務幹事報告

#### ①支部役員（2025年5月現在）

支部長	植木 龍也	広島大・統合生命（理）
理事	浮穴 和義	広島大・統合生命（総科）
支部代表	彦坂 曜	広島大・統合生命（総科）
県委員	山中 明	山口大・創成科学（理）
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	森下 文浩	広島大・統合生命（理）
	棕田 崇生	鳥取大・医
	村上 安則	愛媛大・理工
	山口 陽子	島根大・生命科
	安齋 賢	岡山大・理・臨海
	藤原 滋樹	高知大・自然系・理工
	真壁 和裕	徳島大・社会産業理工
	北沢 千里	山口大・教育・理科教育
企画委員	清水 克彦	鳥取大・地域価値創造研究機構
	宇田 幸司	高知大・自然系・理工
	井川 武	広島大・統合生命（理）
	高田 裕美	愛媛大・理工
	真壁 和裕	徳島大・社会産業理工
	小野 廣記	島根大・生物資源科学部・隠岐臨海実
	箕田 康一	徳島文理大・理工
	越智 拓海	岡山大・環境生命自然科学学域（理）
HP委員	濱田 麻友子	岡山大・理・臨海
会計監査	吉田 将之	広島大・統合生命（生物圏）
会計	有本 飛鳥	広島大・瀬戸内CN国際共同研究センター
庶務	小林 勇喜	広島大・統合生命（総科）

赤文字：変更箇所

支部所在地： 〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1

広島大学大学院統合生命科学研究科（総合科学部気付）

TEL: 082-424-6403 FAX: 082-424-0758

E-mail: [ykoba@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ykoba@hiroshima-u.ac.jp)

## ②支部会員数について

2012	平成24年	296名
2013	平成25年	305名
2014	平成26年	310名
2015	平成27年	297名
2016	平成28年	302名
2017	平成29年	286名
2018	平成30年	264名
2019	令和01年	256名
2020	令和02年	256名
2021	令和03年	248名
2022	令和04年	249名
2023	令和05年	256名
2024	令和06年	261名
2025	令和07年	268名 (+ 7名) 4月現在

前年比	
愛媛	13名 (+ 2)
岡山	74名 (+ 1)
香川	7名 (± 0)
広島	91名 (+ 1)
高知	9名 (+ 2)
山口	19名 (- 1)
徳島	9名 (+ 1)
鳥取	20名 (- 1)
島根	26名 (+ 2)

\*各県の会員に関して、「活動実態のない会員も想定されるため、会員の情報（氏名、所属、メールアドレス）を希望する」旨の意見が出された。それを受け、個人情報の取扱いに留意し、各県委員に対応する県会員の情報をシェアする方針とした。

### 3) 会計幹事報告

有本飛鳥会計幹事より、別紙1,2のとおり令和5年度支部会計決算（令和5年7月1日～令和6年6月30日）および令和6年度決算見込み（令和6年7月1日～令和7年5月17日現在）について報告があった。

### 4) 会計監査報告

吉田将之会計監査より、令和5年度支部会計決算は適正な会計処理が行われていることを確認したとの報告があった。

### 5) 県委員・企画委員報告

各県委員からの報告をもとに小林勇喜庶務幹事から以下に関して報告があった。

#### ○愛媛県委員報告

名称：愛媛県例会

日時：2024年12月15日 13:00～15:00

場所：愛媛大学理学部

内容：研究発表（口頭発表5題）

参加者：約30名

○岡山県委員報告

名称：2024 年度日本動物学会中国四国支部会岡山県例会

岡山大学 次世代研究拠点事業：「哺乳類の行動適応を普遍的にデザインする  
脳機能」研究拠点の創出 岡山大学-理化学研究所・交流セミナー

日時：2025 年 3 月 14 日（金）13：00～17：30

場所：岡山大学津島キャンパス理学部 2 号館 4F 9 講義室

演題数：8 演題　述べ参加人数：23 名

○山口県委員報告

名称：山口大学「サイエンスワールド 2024 ～どうして？たのしい！ようこそ科学  
の世界へ～」

日時：2024 年 10 月 20（日）10：00～16：00

場所：山口大学理学部・山口大学第 2 学生食堂「きらら」・山口大学生協 FAVO

内容：学生による科学体験企画を中心とした地域住民への科学への魅力発信（出展  
企画：26 件）

参加者：1100 名以上

○広島県委員報告

名称：令和 6 年度広島県例会

日時：2025 年 3 月 7 日 13：00 ～ 16：00

場所：広島大学理学部大会議室

内容：対面式のポスター発表を実施。演題数が順調に増えており、今年は昨年より  
11 題多い 35 題の発表があった。学会の紹介ポスター や 5 月に開催予定の支部大会の  
ポスターも会場に掲示した。動物学会への加入促進に繋がることを期待したい。

参加者：約 60 名 35 演題（18 題：大学院生、12 題：学部生）

○高知県委員報告

名称：第 116 回 土佐生物学会

日時：2024 年 12 月 21 日 9：25～16：30

場所：高知大学理工学部

内容：研究発表（口頭発表 16 題、ポスター 10 題）

参加者：一般 26 名、学生 45 名、高校生 7 名、計 78 名

6) 次大会について

椋田崇生鳥取県委員（代読：庶務\_小林勇喜）から、2026 年度日本動物学会中国四国支部大  
会（生物系三学会大会）米子：2026 年 5 月 16 日（土）、17 日（日）に関して説明があった。ま  
た、2025 年度中国四国動物生理シンポジウム島根：2025 年 8 月 2 日（土）、3 日（日）に関しても  
紹介があった。

7) その他 特になし

### ○審議事項

#### 1) 次年度事業計画について

各県委員からの意向を含め、小林勇喜庶務幹事から以下に関して提案があった。

##### ① 次年度支部大会について

54回	(平成14年)	香川
55回	(平成15年)	島根
56回	(平成16年)	徳島
57回	(平成17年)	岡山
58回	(平成18年)	愛媛
59回	(平成19年)	鳥取
60回	(平成20年)	広島 (高知で植物学会)
61回	(平成21年)	高知
62回	(平成22年)	山口
63回	(平成23年)	香川
64回	(平成24年)	島根
65回	(平成25年)	徳島 (岡山で動物学会)
66回	(平成26年)	岡山
67回	(平成27年)	愛媛
68回	(平成28年)	鳥取
69回	(平成29年)	高知
70回	(平成30年)	山口 (広島で植物学会)
71回	(令和元年)	広島
72回	(令和3年)	香川
73回	(令和4年)	島根
74回	(令和5年)	徳島
75回	(令和6年)	岡山
76回	(令和7年)	愛媛

次回予定：77回 (令和8年) 鳥取

参考：次々回予定：78回 (令和9年) 高知

次回は鳥取県で開催することを総会に提案することが承認された。

また、令和9年は高知県で開催予定である旨が確認された。

## ② 県例会等について

### ○愛媛県

名称：愛媛県例会

日時：2025年12月（予定）

場所：愛媛大学理学部

### ○山口県

名称：山口大学サイエンスワールド2025（日本動物学会中国四国支部後援依頼予定）

日時：2025年10月下旬（予定）

場所：山口大学理学部・山口大学第2学生食堂「きらら」

### ○広島県

名称：広島県例会

日時：2026年3月上旬（予定）

場所：広島大学理学部

ポスター形式で実施の予定。

### ○高知県

名称：第117回 土佐生物学会

日時：2025年12月20日（予定）

場所：高知大学理工学部

2025年度の県例会等の実施について総会に提案することが承認された。

## 2) 次年度支部予算案について

有本飛鳥会計幹事より、令和7年度支部会計予算について、令和7年7月1日～令和8年6月30日の支出計画案（別紙3）が提出され、議論の後、総会に提案することが承認された。

## 3) 支部規定改訂案（会計監査）について

植木支部長から、支部の会計監査に関して別紙4のとおり改定案が提案された。

それに対し、以下の質疑があった。

- ・予算を管理する以上、監査を置くべきではないか
- ・本部監査終了後に支部の監査を行っている現状を改善すべきではないか
- ・本部に監査に必要な資料も送付し、本部が監査を行うべきではないか

議論の結果、継続審議とし、総会の審議事項からも取り下げるにとした。また、他支部の状況（会計監査を置いていない支部もある）、質疑内で提案された案の実現の有無を含めて、本部に確認することとした。

4) 総会の次第について

下記内容を反映し、承認された。

- ・審議事項 3) : 支部規定改訂案（会計監査）を取り下げる。

5) その他 特になし

○その他

1) 若手研究者優秀発表賞の選考について

村上 安則（三学会開催地元県委員）委員から、若手研究者優秀発表賞の選考方法について説明があった。

## 別紙1

令和5年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算  
(令和5年7月1日～令和6年6月30日)

収入の部	予算	決算		
縁越金	¥37,637	¥37,526		
支部活動費	¥150,000	¥169,600		
預金利子	¥2	¥0		
	¥187,639	¥207,126		
支出の部	予算	内訳	執行額	内訳
事業費	¥116,000		¥116,000	
支部大会援助金(岡山大会)		¥60,000	¥60,000	
シンポジウム援助金(岡山大会)		¥15,000	¥15,000	
若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000	¥15,000	
県例会援助金		¥26,000	¥26,000	広島県 ¥5,000 岡山県 ¥5,000 山口県 ¥3,000 島根県 ¥3,000 愛媛県 ¥2,000 鳥取県 ¥2,000 香川県 ¥2,000 高知県 ¥2,000 徳島県 ¥2,000
選挙費	¥11,000	¥0		
通信運搬費	¥7,000	¥1,109		¥440 送金手数料 ¥84 返送用84円切手1枚 ¥21 現金書留封筒1枚(1枚21円) ¥564 現金書留郵送料1通(1通564円)
給料手当	¥15,000		¥15,000	
庶務幹事手当		¥5,000	¥5,000	
会計幹事手当		¥5,000	¥5,000	
ホームページ委員手当		¥5,000	¥5,000	
雜費	¥2,000	¥0		
謝金	¥5,000	¥0		
消耗品費	¥3,000	¥0		
<b>小計</b>	<b>¥159,000</b>	<b>¥132,109</b>		
返金(本部)	¥0	¥0		
予備費	¥28,639	¥75,017		次年度繰越
<b>計</b>	<b>¥187,639</b>	<b>¥207,126</b>		

## 別紙2

令和6年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 決算見込み  
(令和6年7月1日～令和7年5月17日現在)

収入の部	予算	決算		
縹越金	¥75,063	¥75,017		
支部活動費	¥150,000	¥150,000		
預金利子	¥1	¥0		
	¥225,064	¥225,017		
支出の部	予算	内訳	執行額	内訳
事業費	¥116,000		¥116,000	
支部大会援助金(愛媛大会)		¥60,000		¥60,000
シンポジウム援助金(愛媛大会)		¥15,000		¥15,000
若手研究者優秀発表賞援助金		¥15,000		¥15,000
県例会援助金		¥26,000		¥26,000
				広島県 ¥5,000
				岡山県 ¥5,000
				山口県 ¥3,000
				島根県 ¥3,000
				愛媛県 ¥2,000
				鳥取県 ¥2,000
				香川県 ¥2,000
				高知県 ¥2,000
				徳島県 ¥2,000
選挙費	¥0		¥0	
通信運搬費	¥7,000		¥2,493	
				¥330 送金手数料
				¥330 返送用110円切手3枚
				¥63 現金書留封筒3枚(1枚21円)
				¥1,770 現金書留郵送料3通(1通590円)
給料手当	¥15,000		¥15,000	
庶務幹事手当		¥5,000		¥5,000
会計幹事手当		¥5,000		¥5,000
ホームページ委員手当		¥5,000		¥5,000
雑費	¥2,000		¥0	
謝金	¥5,000		¥0	
消耗品費	¥3,000		¥0	
<b>小計</b>	<b>¥148,000</b>		<b>¥133,493</b>	
返金(本部)	¥0		¥0	
予備費	¥77,064		¥91,524	次年度縹越
計	¥225,064		¥225,017	

令和7年度 公益社団法人 日本動物学会中国四国支部 予算案  
 (令和7年7月1日～令和8年6月30日)

収入の部	予算	
繰越金	¥91,524 (見込み)	
支部活動費	¥150,000	
預金利子	¥0	
	¥241,524	
支出の部	予算	内訳
事業費	¥116,000	
支部大会援助金	¥60,000	
シンポジウム援助金	¥15,000	
若手研究者優秀発表賞援助金	¥15,000	
県例会援助金	¥26,000	
通信運搬費	¥7,000	
給料手当	¥15,000	
庶務幹事手当	¥5,000	
会計幹事手当	¥5,000	
ホームページ委員手当	¥5,000	
雑費	¥2,000	
謝金	¥5,000	
消耗品費	¥3,000	
<b>小計</b>	<b>¥148,000</b>	
予備費	¥93,524	次年度繰越
<b>計</b>	<b>¥241,524</b>	

\* : 選挙費用は本部支払いになったため、計上しない。

### 支部規定改定案について

本支部は支部規定に基づき会計監査を置いて独自の会計監査を行ってきたが、動物学会が公益法人化された後は本部が一括で行っており、支部としての会計監査は法的には不要であった。そのため会計監査を置かないように中国四国支部規定を改定する案である。中国四国支部規定の九により、支部総会に規定の改定を付すことを提案する。

改定する箇所は、中国四国支部規定の四の「(ホ) 会計監査 1名. 支部長が委嘱する. 任期2年.」を削除することと、それに伴い(ヘ) から(チ)までの記号を一つずつ繰り上げることである。

新旧対照表

旧	新
<p>四. <u>(ホ) 会計監査 1名. 支部長が委嘱する. 任期2年.</u></p> <p><u>(ヘ) 県委員 各県に1名ずつ支部長が委嘱する. 任期2年.</u></p> <p><u>(ト) 大会及び例会世話係 大会及び例会の開催に際し、開催地の会員に支部長が適宜依頼する. 役員は重任してもよい.</u></p> <p><u>(チ) 各種委員会委員 委員会をおくことができる. 委員は支部長が委嘱する. 任期2年. 委員は重任してもよい.</u></p>	<p>四. <u>(ホ) 県委員 各県に1名ずつ支部長が委嘱する. 任期2年.</u></p> <p><u>(ヘ) 大会及び例会世話係 大会及び例会の開催に際し、開催地の会員に支部長が適宜依頼する. 役員は重任してもよい.</u></p> <p><u>(ト) 各種委員会委員 委員会をおくことができる. 委員は支部長が委嘱する. 任期2年. 委員は重任してもよい.</u></p>